

統一連NEWS

発行 安保廃棄 沖縄県統一連

〒900-0012

那覇市泊2-20-7山里アパート101号

電話098-988-8172 FAX098-988-8173

きょう、あす防衛局前で 埋め立て申請提出に抗議

沖縄防衛局は3月22日、辺野古新基地建設埋め立て承認申請書の提出を強行しました。週末で、県民のたたかいの盲点をついたやり方もさることながら、県民の総意を無視し、何が何でも新基地建設を進め、アメリカへの忠誠を示す安倍政権への怒りが高まっています。

基地の県内移設に反対する県民会議は、政府の暴挙に対する抗議集会を25日朝9時に沖縄防衛局前で開きました。以後午後5時まで座り込みがおこなわれます。明日26日も同じく朝9時から抗議集会を開き、座り込みをおこなう予定です。

また、県民会議では今後どのように運動を進めるかを議論し、意思統一をはかるため、28日午後2時より幹事会を開く予定です。

米国の傀儡・総理と防衛局長に 抗議文を送る

政府が沖縄県に埋め立て承認申請書の提出をしたことに対して、統一連は3月22日当日、安倍総理と武田博史沖縄防衛局長あてに以下の抗議文を送りました。

◇ ◇

沖縄防衛局は本日、辺野古新基地建設にむけた埋め立て承認申請書を沖縄県に提出した。基地の県内「移設」に反対し、普天間基地の撤去を求める県民の総意に対して挑戦、挑発するかのごとく新基地建設の手続きを押し進めたことに対し、私たちは満身の怒りを込めて抗議する。

安倍総理は2月2日に来沖し、仲井真知事に埋め立て承認申請書を提出する立場を表明し、「地元への理解を求めた」と装うためのアリバイづくりをした。2月22日におこなわれた日米首脳会談では、オバマ大統領に辺野古新基地建設を「早期に進めていく」と意欲をアピールし、しかも「私た

ちの国を、頼りにし続けてほしいと願う」(戦略・国際研究センターでのスピーチ)などと卑屈にも米国に忠誠を誓った。こうして安倍政権は県民の総意に目もくれず、着々と侵略戦争の新たな拠点づくりにむけた作業を進めてきたのである。

辺野古の埋め立ては沖縄県が定めた「自然環境の保全に関する指針」の「ランク1」に該当する厳正な保護が求められる海である。埋め立て承認申請書の提出は、自然環境の破壊、そして地方自治を侮辱するものである。

また、沖縄県民は2010年4月25日に基地の県内「移設」に反対する県民大会を開き、党派を超えて県内移設に反対している。埋め立て承認申請書の提出は、民主主義の根本を否定するものである。政府はこれまで頭越しに県内「移設」はおこなわないことを強調してきたが、そもそも違法な環境影響評価を強行した時点ですでに頭越しは始まっていた。普天間基地の「危険性の除去」は方便にすぎず、米軍のニーズを最優先する対米従属の姿勢が当初より貫かれていたことを私たちは見抜いている。「日本を取り戻す」どころか「日本を売り渡す」ことに狂奔する安倍政権に対する不信は沖縄から全国へと広がっていくであろう。

私たち沖縄県民は絶対に新たな基地建設を許さない。日本国憲法に明記された平和的生存権、基本的人権、幸福追求権などを追求している私たち主権者にこそ正義がある。私たちは政府に以下を要求するものである。

- 一、埋め立て承認申請書を即取り下げること。
- 一、辺野古新基地建設を撤回し、普天間基地を無条件にただちに撤去すること。
- 一、新基地建設のための一連の手続きの強行を総括し、沖縄県民に謝罪すること。
- 一、普天間基地の米軍機などが使用する東村高江の米軍着陸帯建設を中止すること。
- 一、沖縄の米軍基地及び自衛隊基地を無条件に撤去すること。
- 一、緊急措置として日米地位協定を全面改訂すること。
- 一、日米軍事密約を国民の前に明らかにして破棄すること。
- 一、政府は日本国憲法を遵守し、日本の主権を踏みにじる日米安保条約を廃棄すること。